

村松蘆洲 むらまつ りゅう 郷土史家、漢詩人。明治七年八月十四日山梨縣生肌

(一八七二)。諱孝孝、字定彰、通稱銀左衛門。別號孔桐隱士、寸八寸

甘泉等。市川修齋學舎、岐園英和學館の學び、町田柳塘、三島中洲の

師事。同志と山梨佛教靈光會を興し、南陽學院を設立しとて子弟を薰陶。

田斐郷土研究會會長、山梨郷土研究會理事長等歷任。近代文學研究家

村松定孝はその長男。

著書『富國の基』(本名、明治二十八年九月、千五百山梨・自刊、東

京堂主發賣)、『小田切海洲先生要傳』(編、昭和十一年十一月)、千五

白山梨・海洲小田切謙明先生頌徳會)、『蘆洲詩集』(昭和五十五年

五月十一日村松定孝刊)等。

